特別地域（特別保護地区）内鉱物の掘採（土石の採取）許可申請書

　自然公園法第20条（第21条）第３項の規定により　　　　　　　国定公園の特別地域（特別保護地区）内における鉱物の掘採（土石の採取）の許可を受けたく、次のとおり申請します。

 　　　　年　　　月　　　日

 申請者の氏名及び住所

 法人にあっては、名称、住所及び代表者の氏名

 滋賀県知事

|  |  |
| --- | --- |
| 目　　　　　　　　的 |  |
| 場　　　　　　　　所 |  |
| 行為地及びその付近の状況 |  |
| 鉱物（土石）の種類 |  |
| 施行方法 | 掘採（採取）方法 |  |
| 掘採（採取）量 |  |
| 掘採（採取）設備 |  |
| 土地の形状を変更する面積 |  |
| 掘採（採取）後の土地の形状 |  |
| 関連行為の概要 |  |
| 掘採（採取）跡地の取扱 |  |
| 予定日 | 着 手 | 年　　　月　　　日 |
| 完 了 | 年　　　月　　　日 |
| 備　　　　　　　　考 |  |
|

（備考）

１　添付図面

 (1)行為の場所を明らかにした縮尺1:25,000程度の地形図

 (2)行為地及びその付近の状況を明らかにした縮尺1:5,000程度の概況図及び天然色写真（カラー写真）

 (3)行為の施行方法を明らかにした縮尺1:1,000程度の平面図、断面図

 (4)行為終了後における植栽その他修景の方法を明らかにした縮尺1:1,000程度の修景図

 (5)その他、行為の施行方法の表示に必要な図面

２　注意

 (1)申請文の「　　　　　国定公園」の箇所には当該国定公園の名称を記入すること。なお、不要の文字は抹消すること。

 (2)「場所」欄には、都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番（地先）等を記入すること。

 (3)「行為地及びその付近の状況」欄には、地形、植生等、海域公園地区にあっては、海底の形状、着生する動植物、水深（干満）、潮流等周辺の状況を示す上で必要な事項を記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

 (4)「掘採（採取）方法」欄には、露天掘、坑道掘（横坑、たて坑、斜坑）等の別を記入すること。

 (5)「掘採（採取）量」欄には、容積（立方メートル）及び重量（トン、グラム）により掘採（採取）量を記入すること。

 (6)「掘採（採取）後の土地の形状」欄には、切羽跡階段状等掘採（採取）後の土地の形状について、具体的に記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

 (7)「関連行為の概要」欄には、支障木の伐採（樹種、本数、面積等） 、支障となる動植物の除去、ズリ処理等、申請行為に伴う行為の内容を具体的に記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

 (8)「掘採（採取）跡地の取扱」欄には、跡地の整理、緑化の方法等、風致景観の保護のために行う措置及び跡地の用途を記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。

 (9)「備考」欄には次の事項を記入すること。

ア　他の法令の規定により、当該行為が行政庁の許可、認可その他の処分又は届出を必要とするものであるときは、その手続きの進捗状況

イ　当該行為が鉱業法第63条に規定する施業案を必要とするものであるときは、当該施業案の概要

ウ　土地所有関係及び申請者が土地所有者と異なる場合は、土地所有者の諾否又はその見込み

エ　過去に自然公園法の許可を受けたものにあっては、その旨並びに許可処分の日付、番号及び付された条件

オ　当該申請に関する連絡先（電話番号又はメールアドレス）なお、申請者と担当者が異なる場合は、担当者の氏名、役職、連絡先等を記載すること。

 (10) 申請書の用紙の大きさは、日本産業規格（JIS）Ａ４とすること。

(11) 提出部数は、原則として申請の行為地が大津市内の場合は２部、大津市外の場合には３部用意すること。別途部数について指示のある場合には、その指示に従うこと。